

祝辞

渋川市内の小中学校23校の教職員を代表いたしまして、ひと言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

新成人の皆さん、おめでとうございます。

思い起こせば、新型コロナの世界的な流行を迎え、中学3年生では2か月に及ぶ休校、その後の分散登校、部活動の制限、修学旅行の縮小など、様々な活動に中止や制限がありました。とても残念に思う場面も数多くあったかと思います。同時に、我々教員としても、何かできることはないかと悩み、十分なことをさせることができなかつた時は、とても辛いものでした。

中学卒業後の生活はどうだったでしょうか。高校では、泊を伴う修学旅行に行くことができたと聞きました。また、学校評議員として訪れた高校で、文化祭などで皆さんが伸び伸びと活躍する姿を見た時は、とても胸が熱くなったことが思い出されます。

コロナ禍という予想だにしない社会のなかで、皆さんは、今まで当たり前であったことのありがたさを感じたり、試行錯誤しながら困難な状況を柔軟に乗り越える力を身に付けたのではないのでしょうか。これからも、社会は、かつてないほどのスピードで変化し、予測できない変化は当然あると思います。どのような時も、これまでの経験を活かし、主体的に対応しながら、自らの可能性を発揮し、明るい未来社会を創り出すことを期待しています。

その一方で、社会が変化しようとも変わらぬ人として生きる上での「思いやり」「優しさ」「正義感」「努力」「感謝」などの普遍的な価値は、これからも大切にしたいと思えます。

成人としての第一歩を踏み出した皆さんに心からの祝福を送るとともに、これからの人生が輝かしいものであることを願い祝辞とさせていただきます。

渋川市小中学校校長会代表 高橋 充